

埼玉県退職校長会 会報

題字・石田孝作
第176号
令和4年8月

令和四年度 定期総会

川口市・川口総合文化センター・リリア

令和四年六月三日(金)



会長挨拶 (要旨)

会長 石田 孝作

6月に入り、紫陽花の花の色も生き生きと美しく感じられます。

さて、埼玉県退職校長会定期総会は、コロナ禍のため2年間中止を余儀なくされました。その間、準備を重ねてこられた大里支部、北埼玉支部関係者の皆様にはいろいろとお骨折りをいただきました。おかげさまで、本日、ここ「川口

市総合文化センター・リリア」を会場とする令和4年度定期総会を、3年ぶりに開催することとなりました。

埼玉県退職校長会は、現在、会員数3735名を擁し、10支部・57班の組織により、地域の特色を生かしながら全支部が一丸となつて活動しております。本年度は新入会員154名という多数の方々をお迎えすることができ、本会の更なる躍進の原動力として大いに期待しているところです。

社会の趨勢をみますと、グローバル化や情報化が急速に進展し、AI(人工知能)等も日々信じられないスピードで進化を続けております。教育界におきましては、この予

- 1~9 総会報告
- 10 宣言決議
- 慶祝叙勲
- 11 講演一 要旨一
- 12~17 一人一言
- 18~19 新会員の声
- 20 文芸 編集後記

測不可能で不透明な時代の中で児童・生徒がたくましく生きていくことのできる資質・能力として「他者との意思疎通を図るコミュニケーション力」、「ICT活用能力」さらには、「主体的・創造的に課題を発見し、解決に導く力」等をしっかりと育むことが求められております。

このような状況の中、令和4年度に取り組む本会の活動の「3つの要点」について申し上げます。

その一は、教育支援・教育要望活動の一層の充実・進展であります。

教育支援については、とりわけ本会が40有余年推進してまいりました「彩の国教育の日推進事業 現職・退職校長支部別教育推進協議会」の一層の充実を継続してまいりたいと存じます。

教育要望活動については、

例年の通り、9月に「埼玉教育の振興等に関する要望書」を県当局に、その他の要望活動を随時展開してまいります。

その二は、会員相互の福利厚生活動の活性化の着実な推進です。

再任用・再雇用につきましましては、調査等による実態把握を生かし、校長職のキャリアを生かす活動の場の確保などに努めてまいります。

年金・医療につきましても実態を的確に捉え、全国組織等と連携した運動を推進して



まいりたいと存じます。その三は、情報の共有化による会員相互の「絆」の強化です。

会報年3回、ニュースレター1年2回刊行の充実とともに、開設以来7年目となるHPは、各支部への迅速な情報提供とともに、全会員が情報の共有化を通して心の絆をより広げ、強め、相互の連携と親睦を深めることをねらいとしております。今後一層、本

会発展の基盤としての役割を果たすよう願っております。なお、本年10月27日、28日の2日間にわたり、第51回関東甲信越地区退職校長会連絡協議会「埼玉大会」を深谷市で開催いたします。鋭意準備を進めておりますが、関係者の皆様には、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

結びに、総会開催に当たり、多大なご支援ご尽力を賜りました川口市当局、並びに北足立南部支部退職校長会の会員各位に心からの御礼を申し上げますとともに、ご参会の皆様のご健勝でのご活躍を心より祈念し、挨拶といたします。